

第19回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

遊山四万十せいらんの里

所在地：津野町

- 発注者：津野町
- 設計者：株式会社上田建築事務所
- 施工者：新進建設株式会社



高知県

施設の概要



■完成時期: 令和3年5月

本施設は津野町、四万十川源流点近くに建つ木造の宿泊施設です。全ての木材に高知県産材を使用し、ふるさとに帰ってきたような懐かしく、安心できる空間を創出しています。

外観は、安定感のある切妻屋根の形状で、地元の職人の技を取り入れた石塀、自然と調和する人々の営みや周囲の景観を基に、その風景に溶け込むように設計しました。

内観は、宿泊客以外の利用も多いレストラン棟中央の柱と梁に四万十川流域材の大経木を使用し、荒く仕上げ、地元の大工の技で組み上げています。鳥居のような形状の架構は施設の象徴として、訪れる多くの人に木の持つ力強さや暖かみを印象づけています。宿泊室は全6室で、注入圧縮した県産材のデッキが全ての部屋に付いており、自然の恵みを五感で感じられる建築となっています。

選評

- ・四万十川流域材を使用し、地域の職人の技を活かすなど、地域密着型の施設である。
- ・建物内外の空間価値を高めるような、人に優しい木造建築である点が評価できる。

